



玉川村立
玉川第一小学校

自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども



令和4年2月3日
No. 24
文責：校長 酒井



学校だより 玉一っ子通信



コロナ禍を言い訳にしない教育



ここに一枚の写真があります。少し見づらいかも知れませんが、目を凝らして見てみてください。そして、黒板に群がる子ども達の会話を想像してみてください。

教室の前を通りかかったのは、終業式を明日に控えた年末の12月22日の放課後。廊下からのぞくと、子ども達が思い思いに、そしてとても楽しそうに賑やかに黒板に落書き!?をしています。密をさけるように普段から指導していますので、声を掛けて注意を…と思えば口を開こうとすると、黒板の文字が飛び込んできました。落書きではありません、メッセージです。すると、廊下からのぞく不審者!?に気づいた子ども達、「校長先生、もうすぐ〇〇先生の誕生日なんです。」と教えてくれました。「冬休みに入ってしまふから、明日の朝お祝いしようと思って…」と続けて早口で説明してくれました。

次の日の朝、教室をのぞくことは遠慮しましたが、おそらくミニ誕生会が楽しく開かれたことでしょう。随分と日が経ってしまいましたが、とてもうれしい出来事だったので機会を見て紹介したいと温めていました。

さて、先日県全域に「まん延防止等重点措置」が発令されました。今回わたしたちはオミクロン株という、感染率ではこれまでとは比較にならない壁に立ち向かうこととなります。テレビの話題は、一日中決まってコロナウィルス感染症について。もちろん今後も細心の注意を払いながら予防に努めなければいけません。しかし、学習や諸行事、校内においての日常生活そのものが子ども達には欠かせませんし、子ども達の今を保証することは学校の大切な役目です。そして、その中のそこかしこで多くのドラマが生まれます。友達同士の喧嘩、小さなけが、担任に注意されたり、反発したり、クラスで協力してやり遂げる達成感やできなかった時の悔しさ等々。そうして、子ども達は日々成長し、心を豊かにします。前出の担任の先生との心温まるやり取りもその一つです。

世の中が、コロナ禍で悶々としている中でも、これまで通りの日常を何とか確保したいという願いは誰も同じです。まず中止ありきではなく何とかして、子ども達に日常を与える事ができるよう、知恵を出し合い前を向いて進みます。コロナ禍を言い訳にしない教育を今後も心がけます。

2月も、保護者の皆様には引き続きのご協力をお願いします。

鬼は外、福は内

昨日は一日早い豆まき集会。中止も考えられましたが、季節の変わり目を祈る大切な行事なので、今年も年男、年女の5年生が各教室を回り、声はちょっとだけ控えめに豆まきをしました。豆は、用務員さんが準備して下さった国産自家栽培大豆。しかも、朝に職員室のストーブで、心を込めて香ばしく煎るなど本格的です。これで学校内も無病息災、コロナも吹っ飛ばしますね。



<ねらいを定めて…>

全校集会「あいさつは…」(放送)

令和4年1月24日

おはようございます。

新しい年を迎えてから、ずっと寒い日が続いていますが、皆さんは、風邪をひいたり熱を出したりせずに毎日しっかりと登校できているので安心していています。しかし、ここに来て新型コロナウイルスの感染者が県内でも増えてきて、猪苗代の小学校では沢山の小学生が感染して学校がお休みになっています。いつどこで感染するか分からない状況ですが、玉一小では、これからも、友達同士声をかけ合って、マスクを着用、アルコールの手の消毒、休み時間事に教室の空気の入れ換えを忘れずに行いましょう。

さて、今日のお話は「あいさつ」についてです。

寒い日が続きます。最近、口がこわばって思うように動かなくなったり、気持ちが下向きになったりするためか、だんだんとあいさつできない友達が増えてきているように思います。

つい一週間前の事です。朝、ある子に「おはようございます」とあいさつをすると、声が返ってきませんでした。校長先生は、あいさつが聞こえなかったのかなと思い、もう一度「おはようございます」と声をかけました。すると、その子から返ってきたのはあいさつではなく、「しました。」という返事でした。マスクをしていたので声が聞こえなかったのです。でも、校長先生は少しだけなんとなくいやな気分になりました。そして、あいさつは、相手を思いやったり、気持ちよくするためのものなのに、反対にいやな気分になるのはおかしいと思いました。もっと、耳を傾けてしっかりと聞いてあげたらよかったですと反省もしました。

ひょっとすると、皆さんの中にも同じような思いをした人がいるかも知れませんね。そこで、今日はあいさつの三原則をお伝えします。

- | | |
|------|--|
| 1つ目は | あいてよりはやくすることことです。言われる前に、される前にする。 |
| 2つ目は | あかるくするという事です。声を張って、マスク越しでも笑顔を作ってあいさつしましょう。 |
| 3つ目は | とおくからするという事です。顔を見つけたら、姿を見つけたら遠くから大きな声でしてみましょう。 |

はやく、明るく、遠くから。最初の文字を並べると、「は・あ・と」ハートとなります。あいさつの三原則を守ると必ずハート（心）が伝わります。

「はやく・あかるく・とおく」から、一年で一番寒いこの季節に実行できたら、玉一小はあいさつが飛びかう今よりも更に素敵な学校になりますね。

お話を終わります。

